

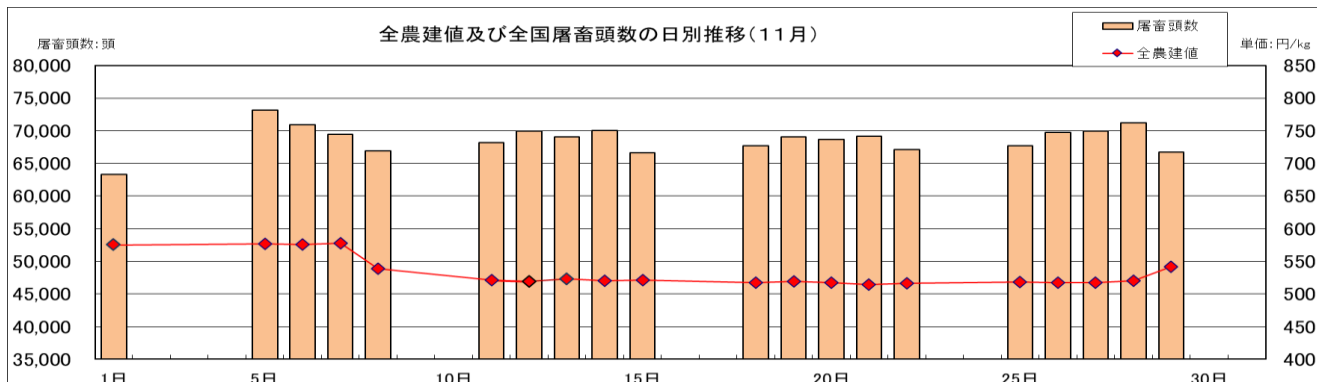
肉豚インフォメーション (11 月)

●11 月の動向

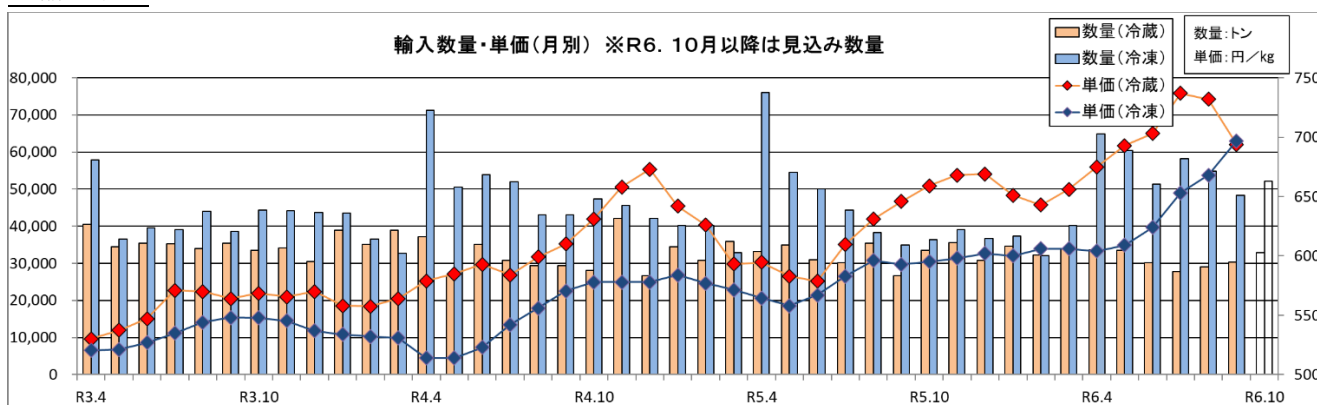
2024 年 11 月 (税抜)	2023 年 11 月 (税抜)
532 円/kg (46 円高)	486 円/kg

※全農建値

11 月は、長かった残暑もようやく落ち着き、出荷頭数も増加基調となり、屠畜頭数は 6 万頭台後半から 7 万頭で推移した。高値が続いていた相場も軟調な展開となり、概ね 500 円台前半で推移した。

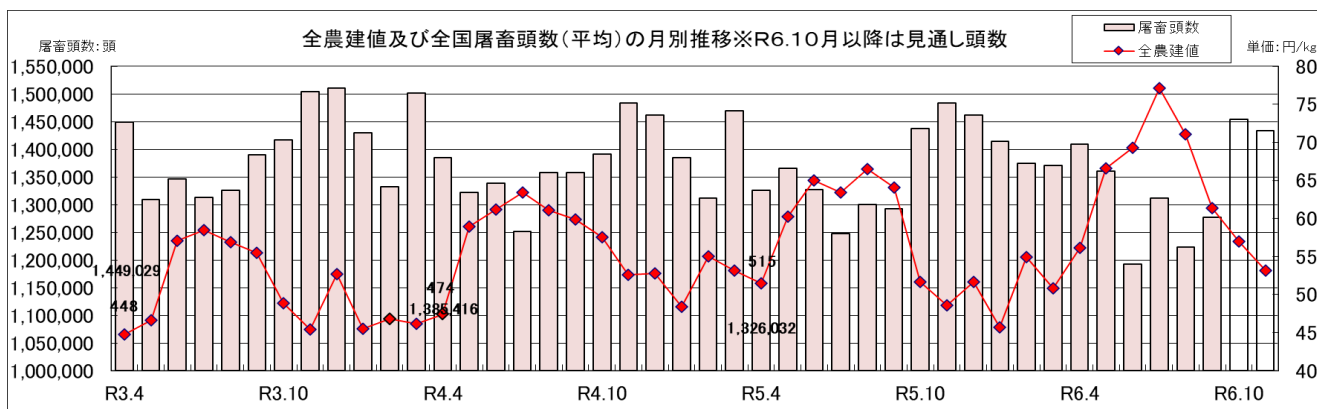


●輸入動向



●12 月の動向

12 月の出荷頭数については、前年同月よりやや増加、相場は堅調な相場展開と予測。

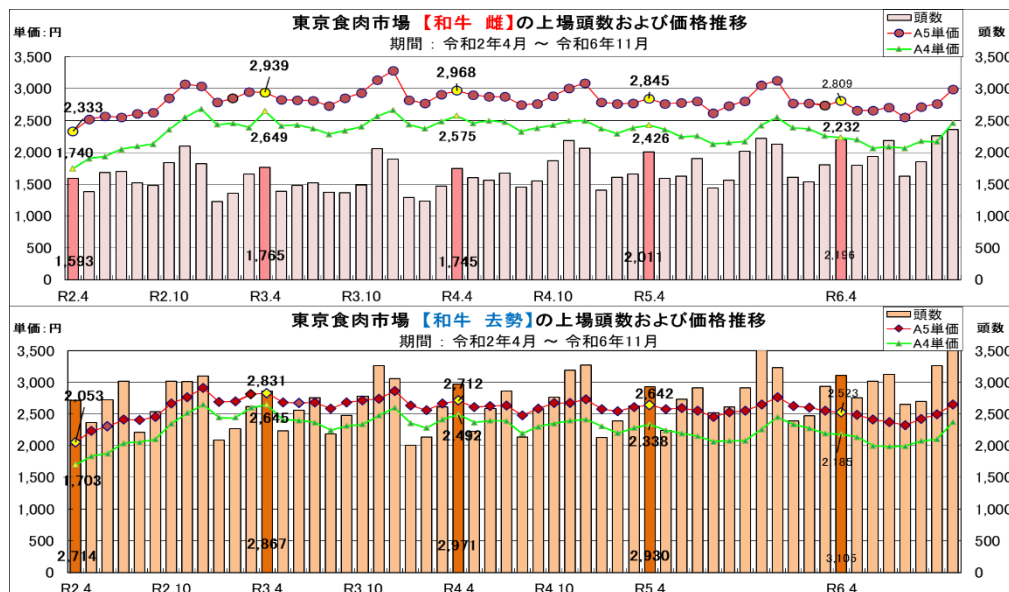


全農建値 (税抜) 予測レンジは 550 円～600 円とする。

肉牛インフォメーション (11 月)

●11 月の動向

11 月の相場は、共励会などが多く開催され高品質な牛が集まったことから、和牛は強含みで推移し、交雑牛は、10 月の相場と比較してもちあいで推移した。



●12 月の動向予測

今年は 11 月上旬から相場が上がってきたため、相場のピークは 12 月上旬に迎えそう。和牛・交雑ともに中旬まで相場はもちあいで推移し、それ以降は弱いと予測する。

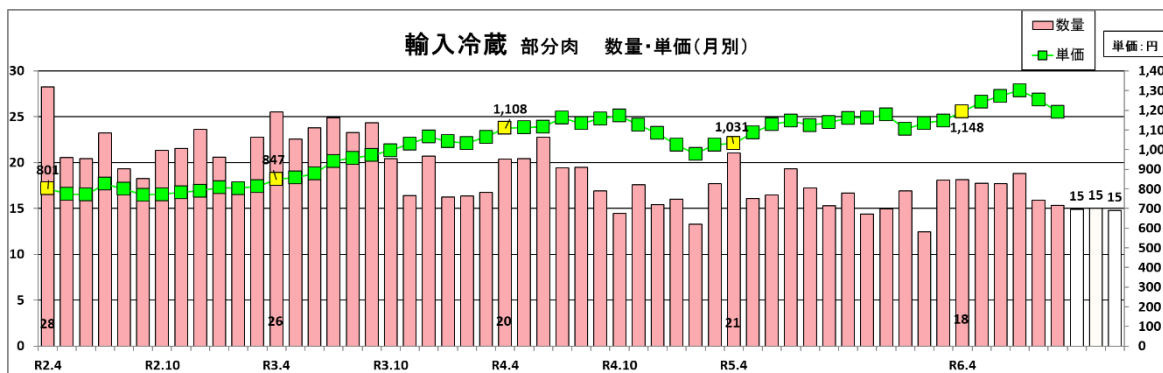
12 月相場は「もちあい」の展開と予想。

和牛去勢 A5 等級 2,600 円 (税込み) A4 等級 2,350 円 (税込み)

交雑去勢 B4 等級 1,750 円 (税込み) B3 等級 1,550 円 (税込み)

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、国内需要の低迷により低調に推移する中、11 月は、主要輸入先である豪州産輸入量の増加が見込まれること等から、前年同月をやや上回る一方、12 月は、前年同月をわずかに下回ると予測する。なお、3 カ月平均では、前年同期をやや下回る予測する。(ALIC 牛肉の需要予測について 11 月 27 日)



食肉インフォメーション（11月）

●11月の動向

○牛肉

11月に入り、冷え込む日も多くなってきたことで、鍋物需要が進みロース・モモを中心としたスライス系の荷動きが強まっている。

一方、量販店では「いい肉の日（11/29）」を狙った販売が行われたが、消費者の節約志向による豚肉や鶏肉へのシフトもみられ、牛肉の販売は苦戦した。

輸入牛については、スソ物中心に卸売での荷動きがみられたが、国産牛同様に末端消費は鈍い動きとなった。

○豚肉

真冬並みの気温の日もあったことから、鍋物需要が活発化し、バラやカタロースのスライス材の販売が好調となった。

輸入ポークについては、入船遅れによる供給不安や、為替の円安及び現地での相場高の影響から、国産豚肉への切り替えが進んだ。

●12月の動向予測

○牛肉

気温低下により、鍋物に需要がシフトし、ロース・モモなどスライス材中心の動きが続く。卸売業では特に交雑牛のカタ系が不足しているため、和牛への代替え需要も期待される。忘年会やイベント等、外食需要も期待され、また、継続してインバウンド需要も見込まれる。

○豚肉

年末商戦に向けて鍋物需要の増加など、バラやカタロースなどのスライス材の販売が好調になる。また、忘年会などイベントの機会も増えることから、ロースなどの荷動きが期待される。スソ物については、学校給食が冬休みの影響から荷動きは鈍る見込み。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和6年10月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸	食肉 専門店	量販店	飲食店	合計
令和4年度10月	26,954	8,832	36,032	20,357	11,706	6,309	110,190
令和5年度10月	28,149	7,276	28,714	18,741	11,553	5,398	99,831
令和6年度10月	27,824	6,732	37,279	19,212	9,043	6,528	106,618
増減（R5-R6）	-325	-544	8,565	471	-2,510	1,130	6,787
対比（R4/R6）	103%	76%	103%	94%	77%	103%	97%
対比（R5/R6）	99%	93%	130%	103%	78%	121%	107%